

鳥取西道路の遺跡を掘る!

第72号 2015年4月23日

平成27年度となり、今年度も鳥取西道路関連の発掘調査が本格的に始まりました。並行して昨年度行った調査の成果をまとめる作業を行っているところです。

ここでは、発掘調査の記録をまとめた、報告書のお話をします。



発掘調査報告書は文化財!?

道路建設などの開発行為に伴って行われる発掘調査は、工事等によってなくなってしまう遺跡の詳細な記録を残すために行われ、その成果は「発掘調査報告書」という本に図面や写真、文章としてまとめられます。

当財団では、鳥取西道路関係の発掘調査で、これまでに15冊の発掘調査報告書を刊行してきました。これらの発掘調査報告書は、地域の歴史、ひいては日本の歴史を解き明かしていく重要な資料のひとつとなります。



調査が終了した後、ほとんどの遺跡はなくなってしまうのですが、「発掘調査報告書」は、その遺跡の代わりに永遠に残し伝えられる、いわばそれ自体が「文化財」になるといってもよいかもしれません。

発掘調査報告書は、県内の公立図書館などに置かれていますので、機会があれば手に取ってご覧いただければと思います。

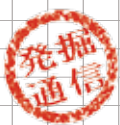


鳥取西道路関係で刊行された発掘調査報告書

(公財) 鳥取県教育文化財団
調査室

〒680-1133
鳥取市源太 12 番地

TEL : 0857-51-7553
FAX : 0857-51-7550
メールアドレス :
tottori-kyobun@kyobun.
sakuratan.com



当財団が担当する鳥取西道路関連の発掘調査は、いよいよ大詰めを迎えます。

今年度もいち早く皆様に発掘情報をお知らせしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

鳥取県教育文化財団 調査室

検索

鳥取西道路の遺跡から歴史をさぐる

～平成 27 年度の発掘調査～

平成 27 年度は、大柵地区（大柵遺跡）、高住地区（高住宮ノ谷遺跡、高住牛輪谷遺跡）、松原地区（松原田中遺跡）、下坂本地区（下坂本清合遺跡）の 4 地区で 5 遺跡の発掘調査を行います。

昨年度の調査では、大柵遺跡で平安時代前半頃（約 1,200 ～ 1,000 年前）の建物跡や官人（官職に就いている役人）が身につけていた腰帯の装飾品、出世を願ったとみられる「位能上」と墨書された土器など、古代の役所との関連性がうかがわれる遺構や遺物が発見されたほか、下坂本清合遺跡において、平安時代末から鎌倉時代（約 900 ～ 800 年前）にかけての大型の建物跡や漆器碗といった富裕層の存在を示す遺構や遺物が見つかるなど、貴重な発見が相次ぎました。

今年度の調査でも、このような発見があるかもしれません。どうぞお楽しみに。



しもさかもとせいごういせき

下坂本清合遺跡

発掘調査は今年で 3 年目。これまでの調査では鎌倉時代の河川跡と、その北西岸側では護岸施設、大型掘立柱建物跡、水田跡などがみつっています。

今年度の調査では河川跡の南東岸側の集落の様子を明らかにしていきます。川を挟んであちらとこちら、どんな違いがあるのでしょうか。



だいかくいせき

大柵遺跡

大柵遺跡では、昨年度に引き続き調査を行います。

弥生時代や古墳時代の大柵のムラはどのくらいの規模だったのか？平安時代にこの地に屋敷を構えた有力者はどのような人だったのか？

今年度の調査でその答えにせまりたいと思います！



まつばらたなかいせき

松原田中遺跡

湖山池の南西部に位置する主に弥生時代から古墳時代の集落跡です。各地との交流の拠点的な役割を果たしたと考えられています。

今年度は 4 年間に及ぶ調査の集大成となります。



表土掘削のようす

たかすみみやのたにいせき

高住宮ノ谷遺跡

湖山池に流れ込む三山口川の東側に高住牛輪谷遺跡、西側に高住宮ノ谷遺跡が位置します。

どちらの遺跡も、昨年度に引き続いての調査となります。特に高住宮ノ谷遺跡では、谷部分を掘り下げてさらに古い時代の調査を行います。銅鐸出土推定地の近隣でもあり、何か珍しいモノが見つかるのでしょうか？



たかすみうしわだにいせき

高住牛輪谷遺跡